



○ 草の根パートナー型

パートナー型フォローアップ案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ブルキナファソ
2. 事業名	栽培地の生産性向上と組合活動の活性化による生活改善プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	対象地域では、作物を栽培する農地の地力が低下し、かつ雨水による浸食を受け栽培できる面積が減少し、農業生産性が著しく低下しています。このことは、食糧の確保を困難にしているだけではなく、家計収入の大部分を農業生産物の販売によって得ている地域住民の現金収入力を弱体化させています。その結果、不足分の食糧購入のほか、学用品購入や学費の負担、診察代や医薬品代の支払いなど、日常生活で現金を使う機会が増えている地域住民にとって、生活全般に対する課題となって表面化しています。地域住民の生活を保障するために、農地の生産性の改善と現金収入の向上を目的とした活動の早急な実施と住民による継続を可能にする技術的な工夫が求められています。
4. プロジェクト目標	プロジェクト終了時まで、住民生活の改善のための継続的な仕組みが確立できる。
5. 対象地域	中央北部州バム県コングシ地域
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	対象地域にあるロルガ村、タンギエマ村、タンボンガ村の計3村に居住する1,340名(男性650名、女性690名)の住民
7. 期待される成果及び活動	<p><成果></p> <p>1. 栽培地の条件が改善される。 2. 栽培方法が改善される。 3. 組合(グループ)の現金収入力が強化される。</p> <p><活動></p> <p>1-1 ディゲット候補地の調査を行なう。1-2 石の運搬を行なう。1-3 ディゲットの設置を行なう。1-4 設置後の状況調査を行なう。1-5 破損箇所の補修を行なう。1-6 有用草の採取・移植を行なう。1-7 有用草の補植を行なう。1-8 有用草の育成状況の調査を行なう。 2-1 ザイを導入する栽培地の調査を行なう。2-2 ザイ用の穴を掘る。2-3 ザイ用の穴に堆肥を入れる。2-4 ザイ用の穴に播種する。2-5 育成状況調査を行なう。2-6 栽培作物の収量調査を行なう。2-7 堆肥作製の穴を用意する。2-8 堆肥の作製を行なう。2-9 作製状況の調査を行なう。2-10 作製量の調査を行なう。 3-1 蜂蜜を採取する。3-2 採取状況の調査を行なう。3-3 蜂蜜を販売する。3-4 収益調査を行なう。3-5 羊を購入する。3-6 配合飼料、ヌカ等を購入する。3-7 肥育を行なう。3-8 状況調査を行なう。3-9 肥育した羊を販売する。3-10 収益調査を行なう。</p>
8. 実施期間	2012年7月～2014年6月(2年)
9. 事業費概算額	29,983千円
10. 事業の実施体制	地域を管轄する関連省庁の支局に所属する技官に技術的な補佐を依頼し、対象地域で活動している現地NGOと協力して普及活動を行なう。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	緑のサヘル
2. 活動内容	活動分野としては、住民生活の基盤に対して働きかける「生活保障」と、これからも生活を続けられる状況を作り出す「環境保全」を柱にしている。